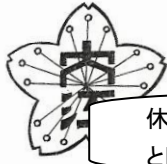


2020 年度

今日は風もあって運動場で体育をしている子どもたちは、とても気持ちよさそうでした。明日まではお天気なのですね。金曜日の分散授業参観の時に雨が降らないといいなあと思っています。来てくださるお家の方々に申し訳ない。てるてる坊主をつくりましょうかね～。



# 大江の風

7月1日  
No.57

休み時間うろうろしていたら、6年生が休み時間終了・つまり授業の始まりのチャイムの音が終わると同時に「起立」と号令がかかり授業が始まりました。かっこいい！すごいなあと思いました。

## 7月スタート

あと1か月も子どもたちと一緒にいれる・・・学校に子どもたちが通

てくると思うと、私はうれしくてたまりません。学校が再開して1か月が過ぎ、やっと1年生に校長先生がちゃんと認識されました（笑）。やっぱり子どもたちとの会話は楽しいですね。担任をもっていない先生たちは、何気ない子どもたちとの会話をとても喜んでいきます。元気をもらいます。近頃やっと緊張もなくなり、素の子どもらしい姿を見せてくれるようになりました。これから1か月。コロナ感染拡大防止、熱中症防止につとめ、夏休み前にあとひと踏ん張り、子どもたちに力をつけて夏休みお家に返したいと思います。

## 7月の学校朝会は「ぞうさん」の歌から・・・

本来なら6月は毎年「いじめ根絶月間」です。しかし本年度は6月学校スタートとなりましたので、7月の学校朝会で、いじめ未然防止のためのお話をしました。まどみちおさんが作詞した「ぞうさん」の歌は、知らない人はいないでしょう。子象はまわりの動物から「鼻が長くて変だよ」「おかしいよ」と言われました。その時、子象はどんな気持ちだったか考えさせました。子どもたちはきっと「私って変なのかな。悲しいな。」と想像したことでしょう。この子象は違います。「ぞうよ。大好きなかあさんと一緒なんだよ。いいでしょう～。」と言い返しています。鼻が長いことに誇りをもち、象に生まれてきたことを喜んでいきます。まどみちおさんは、「みんな同じではなく、違うから楽しいし、幸せなのです。」という思いをこめています。こういうことって私たちの生活にもよくあることです。体が大きい人小さい人、肌が白い人、黄色い人、黒い人、足が速い人、遅い人、算数が得意な人、苦手な人・・・いろいろな人がいて当たり前です。

『ぞうさん』のうたをしていますか

作詞 まど みちおさん



ぞうさん  
ぞうさん  
おはなが ながいのね  
ぞうよ  
かあさんも ながいのよ

はながながくてへんだよ。

こぞうは どんな きもち だったでしょう。

ながいはなって、おかしいよ。

なんか わらえる ニャ～

モ～ きもちわるい。

ぞうよ かあさんもながいのよ

大好きなかあさんといっしょなんだ。いいだろ～。



ぞうに うまれてきてよかったゾ～

みんな 同じでなく、ちがうから楽しいし、しあわせなのです。(まど みちお)

生徒指導主任の坂木先生のお話は、今月のめあて「室内での過ごし方を考えよう」についてでした。教室をまわったらどのクラスもしっかり聞いていました。大変よろしい！



**いじめは ぜったいに ゆるしません**



大江小のこどもは、

他の人とは違う自分を大切にする。

自分とは違う他の人を大切にする。

ちがっても なかよくしよう ではなく ちがうから なかよくしよう



もっと 笑顔 あふれる大江小 日本一 幸せな大江小 になる！

2年2組さんは、担任の先生がテレビで全校にお話されている間、ちゃんと自分たちだけでしっかりお話を聞いていました。素晴らしいなあ。先生がいなくてもちゃんとできる2年生。立派ですよ。